ベックマン・コールター オンデマンド配信のご案内

ベックマン・コールター　免疫学術Webセミナー

配信期間　2026年8月1日（土）～ 9月30日（水）

参加方法　下部のURLもしくはQRコードからお申し込みください。

「一般内科医が知っておきたい性腺疾患」

演 者　**大塚 文男 先生**

岡山大学学術研究院医歯薬学域　総合内科学　教授
岡山大学病院　総合内科・総合診療科/感染症内科　科長
岡山大学病院　検査部長・超音波診断センター長

内科医が対応する性腺疾患の主な症状として、女性では月経異常、不妊、男性化徴候が挙げられ、男性では性欲低下、勃起障害（ED）、男性不妊、女性化乳房などがみられる。性腺機能低下症では生殖機能の異常だけでなく、さまざまな内科疾患を合併しやすいことにも注意が必要であり、なかでも肥満は重要な合併症の一つである。男性では体組成の維持に重要な役割を果たすテストステロンの低下により体脂肪が増加する一方、女性では脂肪蓄積を抑制する作用を有するエストロゲンの低下によって体脂肪が増加しやすくなる。

さらに、多嚢胞性卵巣症候群（PCOS）では、両側卵巣の多嚢胞性変化、月経異常、多毛や男性化徴候に加えて肥満を認めることが多く、その背景にはインスリン抵抗性や高インスリン血症が存在し、これらが体脂肪の増加に関与している。性腺機能低下症は、その原因により原発性と続発性に分類されるが、原発性性腺機能低下症には、性腺形成不全、性染色体異常症、先天性副腎過形成など、性腺そのものに原因を有する疾患が含まれる一方、続発性性腺機能低下症には、ゴナドトロピン欠損症、自己免疫性下垂体炎、プロラクチノーマなどの視床下部・下垂体疾患が含まれる。内科領域における性腺機能低下症の治療では、それぞれの病態や妊孕性の有無を考慮しながら、性ホルモン補充療法あるいはゴナドトロピン補充療法を行う。しかし、性腺機能低下症は代謝異常や精神・心理面を含めた多面的な問題を伴うため、患者ごとの病態に応じた総合的な介入が必要であり、泌尿器科、産婦人科、精神科など関連診療科との連携が重要となる。

性腺疾患は内科医にとって馴染みの薄い領域と捉えられることも少なくない。しかし、性腺機能低下症では高血圧、肥満、糖尿病、骨粗鬆症などの内科疾患を高頻度に合併することから、全身疾患として理解し、適切な診断と管理を行うことが重要である。

講演動画をご視聴いただけます。ぜひご参加ください。

https://www.beckmancoulter.co.jp/systemjump/6a6c1e1436038

© 2026 ベックマン・コールター株式会社
Beckman Coulter およびBeckman Coulterロゴは、Beckman Coulter, Inc. の登録商標です。

ベックマン・コールター ダイアグノスティックス

ベックマン・コールター株式会社
〒135-0063 東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウエストタワー 12F・13F
お客様専用 0120-566-730　URL www.beckmancoulter.co.jp

MAPSS-DX-202607-37

ベックマン・コールター ダイアグノスティックスはDanaherの一員です。